

経営比較分析表（令和5年度決算）

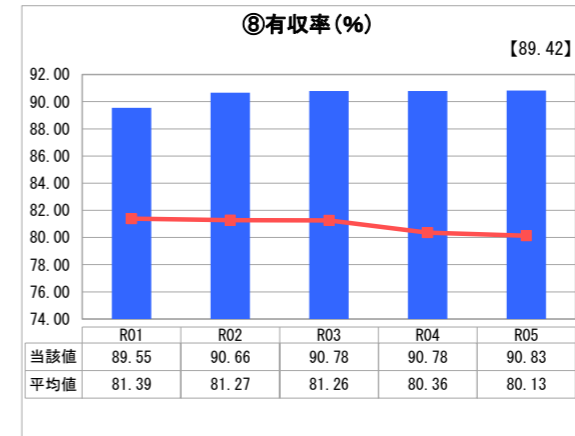
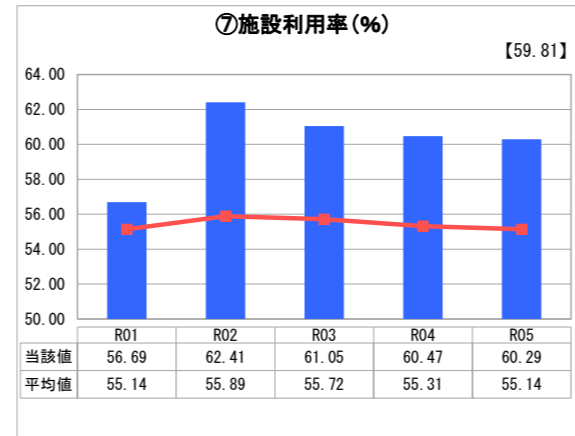
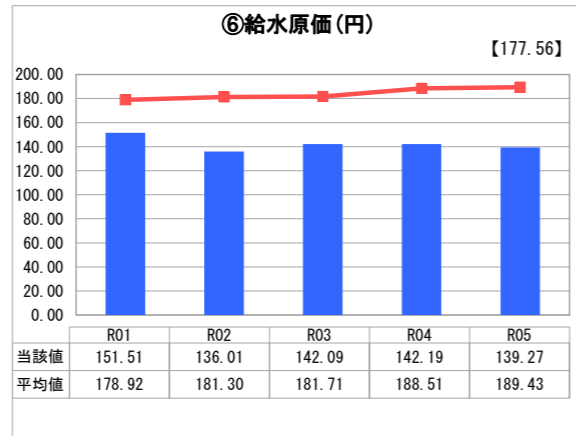
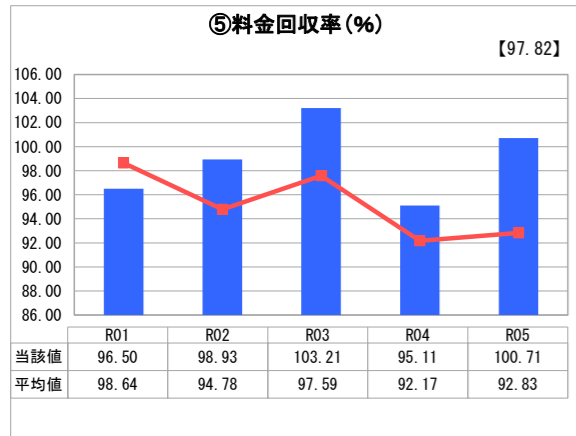
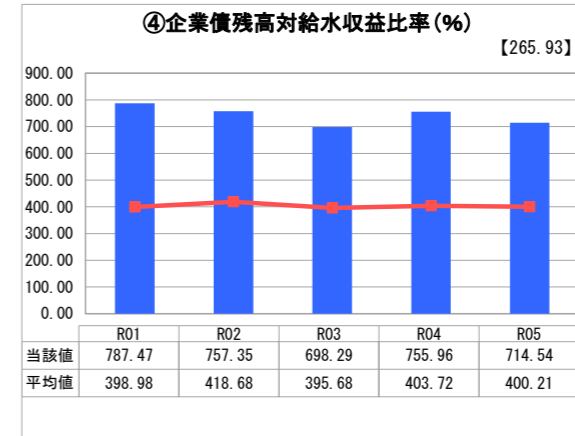
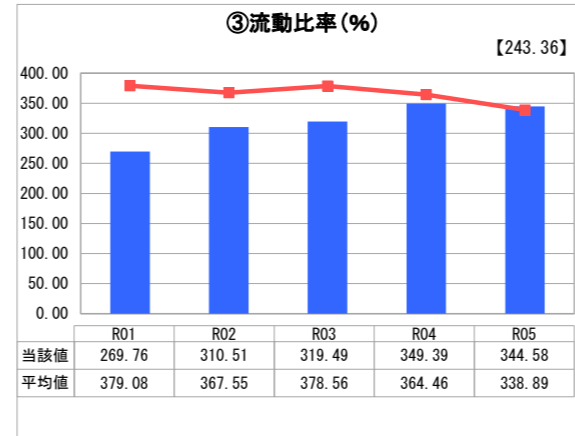
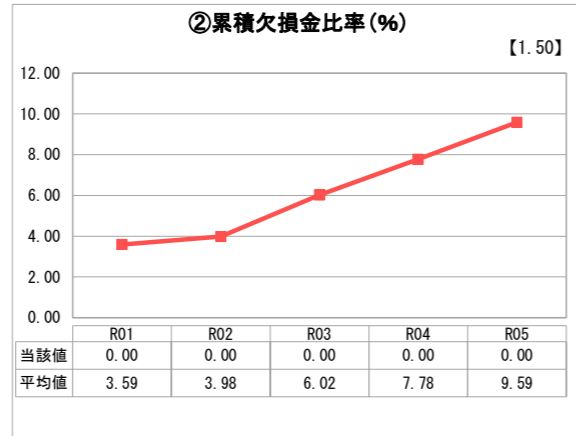
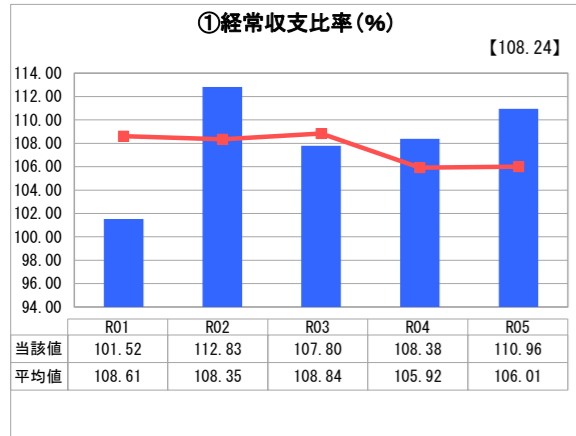
鹿児島県 いちき串木野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	44.51	97.74	2,420	

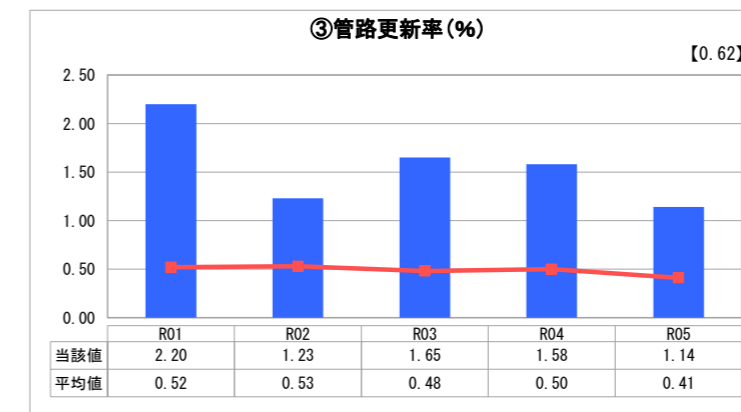
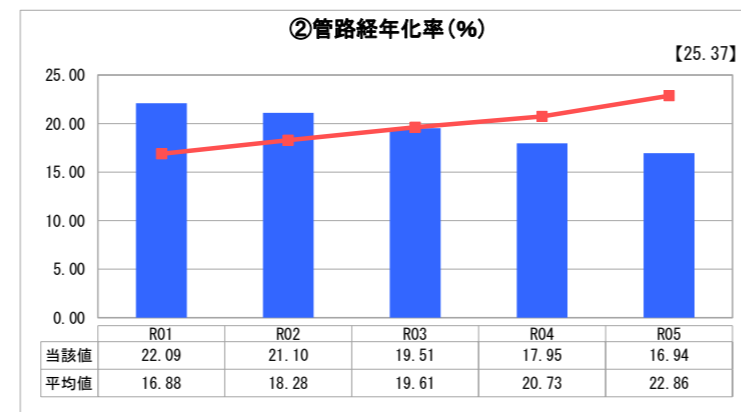
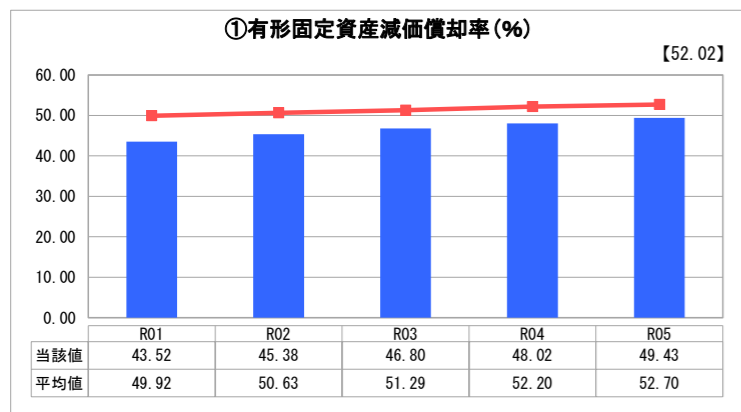
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,147	112.30	232.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,293	38.70	653.57

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
令和元年度に料金改定を実施して以降100%を上回っており、引き続き健全経営に努めていく。
- ② 流動比率
類似団体と比較し概ね同値であり、短期的な債務に対する支払い能力はあると考えられる。
- ③ 企業債残高対給水収益比率
平成22年度から平成30年度において実施した、拡張事業等の大規模な事業による借入の増加と、平成29年度の簡易水道事業を統合したことの影響で高い比率となっている。令和5年度より減少していく見込みである。
- ④ 料金回収率
令和5年度においても基本料金免除を実施したが、料金回収率は100%を上回った。しかし、人口減少等により料金収入が減少傾向にあることから、今後も料金回収率の向上に努める。
- ⑤ 給水原価
類似団体より下回っているが、今後も維持管理費の削減に努め、適正な原価の維持に努める。
- ⑥ 施設利用率
類似団体や全国平均よりも高い数値となっており、施設の有効な利用が図られており、適正規模であると考えられる。
- ⑦ 有収率
類似団体と比較しても高い水準で推移している。引き続き、施設の適正な稼働や漏水調査等の漏水対応などに努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産原価償却率
類似団体を下回ってはいるが、年々上昇しており、老朽化は少しずつ進んでいくので、長期的な資金計画等により将来の施設更新に備える必要がある。
- ② 管路経年化率
類似団体は上昇傾向にあるが、本市は計画的な管路更新により、前年度を下回ってきている。今後も年次の管路更新に努める。
- ③ 管路更新率
管路更新については、耐震化計画、水道ビジョン等を基に積極的な更新を行っている。今後も計画的に配水管等の更新に努めていく。

全体総括

全般的に良好な経営状況であるといえるが、一方で、人口減少等の影響により給水収益が減ってきていることから、今後も健全経営を続けていくために、「経営戦略」の見直しを行い、料金改定の時期や適正料金の検討を進めていく必要がある。
また、施設の耐震化や経費の削減に努めることにより、経営の安定化・効率化に取り組んでいく。